

2024年7月30日

【U.S.M.H セミナーイベントレポート 7/24 開催】 「Green Growers & BEYOND MEAT® CONFERENCE」

「BEYOND MEAT 社」CEO・Ethan Brown 氏（初来日）が登壇！
「プラントベースフードの拡大」をメインテーマに、フードテックの最先端についてセッションしました



ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田元宏 以下 U.S.M.H）は、プライベートブランド「Green Growers」がお届けするセミナーイベント「Green Growers & BEYOND MEAT® CONFERENCE」を、米国・プラントベースフード業界の先進的企業「BEYOND MEAT 社」との共同開催で、7月24日（水）に都内会場で実施しました。

今回初来日した「BEYOND MEAT 社」創業者・CEO の Ethan Brown（イーサン・ブラウン）氏、人工光型植物工場の企画・設立・運営サポートを行う株式会社プランテックス代表取締役社長・山田耕資氏がゲストスピーカーとして登壇し、それぞれの専門領域におけるフードテックの最先端についてスピーチしました。

＜イベントの様子をまとめた動画を公開しています URL: <https://prtmes.jp/tv/detail/2971>>



中央：BEYOND MEAT 社 CEO Ethan Brown 氏
右：株式会社プランテックス 代表取締役社長 山田耕資氏
左：U.S.M.H プログラムマネジャー 満行光史郎



スピーチする Ethan Brown 氏

「BEYOND MEAT 社」CEO・Ethan Brown 氏 スピーチより（要旨）

※日本語訳：ブレインウッズ株式会社の同時通訳より引用

～会社概要、事業背景、プラントベース市場の状況と展望～

私が「BEYOND MEAT」を始めたのは、大学院生のとき、人生の目標やキャリアについて相談した父に、「世界が直面している一番大きな問題は何か」と問われたことがきっかけでした。言葉にしよと考えると私がかいた答えは「気候変動」です。どんな仕事でも、気候不安定になればたちまち危機にさらされるなら、それを解決するようなキャリアを考えようと思ったのです。気候変動の対策では当時、グリーンエナジー、電気自動車、燃料電池など日本は有名な研究をしていて大変興味がありましたが、エネルギーについて議論する国際的な会議の場では、ディナーにバーガーや豚肉が提供されているのを知り、そのとき気づいたのです。交通で排出する CO₂ に比べて、私たちは身体への燃料補充を通して、より多く CO₂ を排出しているのではないかと。ならばエネルギーへの投資を食品にあてはめ、植物由来肉を作れないかと考えたのです。

さらに我々は、現在不安定な4つの問題を解決する必要があると考えました。「人の健康」、「地球環境」、土地利用などの「天然資源」、そして「動物愛護」です。動物由来のたん白質を植物由来にすれば、これらを解決できると考えて「肉」の研究を始めたところ、構成要素であるアミノ酸、たん白質、脂質、脂肪、トランスミネラル、トランスビタミン、水・・・これらはすべて植物にも存在することがわかりました！生命の構成要素は、植物も動物も同じなのです。「肉」と同じ構成要素をもつ植物から、植物由来肉をつくることで、とても大きな貢献ができるのです。

日本はとても美しいところです。子どもたちの未来を守るために、よりよい世界を残すために、私たちは現状を打破するアクションを起こさなければなりません。そのために私たちは1日に3回、何を口にするのか意思決定するチャンスがあります。我々自身が、我々の運命、地球の将来を変えていくことができます。賢い選択を一緒に行っていきましょう！

株式会社プランテックス 代表取締役社長 山田耕資氏 スピーチより（要旨）

～会社概要、事業背景～

我々は、ものづくりの分野で実績をあげたメンバーが中心になって立ち上げた、植物工場のスタートアップ企業です。世界的に見ても類がない植物工場だと考えており、その一番の特徴は、栽培装置が閉じた密閉構造である点です。オープン型の植物工場では部屋全体をコントロールする必要がありますが、クローズ型は範囲が小さいため、緻密な調整が可能になり、栽培室は自動化、無人化しています。

未知の領域が大きい植物をコントロールするため、我々はまず、成長に必要な環境条件を網羅的に整理することからスタートしました。大きく光、空気、水に分類される20の環境条件で、個別かつ正確に、個々のパラメーターをコントロールし、どの装置の栽培環境も最適化する再現性の高さを実現しています。

この栽培装置によって、2022年茨城県土浦市に植物工場「THE TERRABASE（ザ・テラベース）土浦」が完成しました。洗わずに食べられるほど菌数が少なく衛生的に管理された状態で、農薬も使わずに安心して食べられるほか、レタスひとつで12ℓの水を節約できる、とても優れた商品です。24時間以内に各店舗に配送するサプライチェーンが構築され、フレッシュな状態で供給できるようU.S.M.H.にしっかり販売活動をしていただき、非常にやりがいがあります。

現在、事業化に向けて植物を多様化し、社会実装する開発を続けていますが、その背景には、2050年、農地、水、人が不足するなか今より食料が1.7倍必要になるという深刻な課題があります。ギャップを埋めるために、資源効率が高く、安定的に、季節問わず誰もが簡単に「食」をつくることのできる植物工場は、ひとつの重要なキーテクノロジーだと考えています。これは我々にとって大きなビジネスチャンスであり、こうした技術を世界に発信することで地球規模の課題に貢献できればと考えています。



U.S.M.Hプログラムマネジャー 満行光史郎 スピーチより（要旨）

～主催挨拶、会社概要、プライベートブランド「Green Growers」について～



「Green Growers」は、2022年6月にU.S.M.H.が立ち上げたプライベートブランドで、安心安全、健康的、環境にやさしい、の3つをコンセプトで商品開発を行っています。今回ご登壇いただくゲストスピーカーのお二人とU.S.M.H.が出会ったきっかけが、このブランドでしたので、「Green Growers & BEYOND MEAT® CONFERENCE」としてこのイベントを開催させていただきました。

株式会社プランテックスとU.S.M.H.は、U.S.M.H.として初の自社植物工場となる「THE TERRABASE 土浦」設立に関して2020年に業務提携を行いました。当時、U.S.M.H.が思い描いていた未来の農業に関する思いと、プランテックス社が目指していたサステナブルな農業の考え方が見事に同じ方向を目指しており、非常に自然な流れで立ち上げに至りました。現在は、2023年6月に共同で立ち上げた持続可能な都市型野菜のサプライチェーン構築を目指すコンソーシアム「SEED」を通して、さらなるパートナー企業さまと取り組んでいます。

そしてBEYOND MEAT社とU.S.M.H.の出会いは、「Green Growers」立ち上げ直後のことです。「あなたの体はあなたの食べたものでできている」というブランドコンセプトの先行事例として、代替肉の分野の知見を深めたいという思いで現地工場を視察させていただき、ぜひこのブランドで取り扱いたいと考えて2022年9月に日本で初めて独占販売契約を結ばせていただきました。現在、「BEYOND MEAT®」や加工食品をU.S.M.H.の店舗で販売しています。

問い合わせ先：広報 I R 竹内、瀧澤（TEL：03-3526-4769）



ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社

〒101-0029 東京都千代田区神田相生町1番地

Tel.03-3526-4761



BEYOND MEAT社CEO Ethan Brownが初来日！ プレスセミナー

[Green Growers&BEYOND MEAT® CONFERENCE]開催

「プラントベースフードの拡大」をメインテーマに、
サステナブル農業などフードテックの最先端を展望

2024年7月24日(水) 14:00~16:30

虎ノ門ヒルズフォーラム メインホール1

(東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー5F)

主催

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社
BEYOND MEAT 社

Introduction

世界人口は2022年11月に80億人を突破。2030年には86億人、2050年には97億人に増加すると予想されている中、持続可能な食料システムへの移行は世界の共通課題です。私たちは、その一環としてプラントベースフードの促進や、新しい形の農業への挑戦などのフードテックを推進しております。

持続可能な食料システムとして、畜産業よりも水や土地の使用量や温室効果ガスの排出量が少ない農業の推進は、気候変動を緩和し、生態系を保護する上で重要です。また、果物や野菜、穀物、豆類を多く含む食事は慢性疾患のリスクが低いと言われており、プラントベースの食生活は健康にも寄与する可能性があります。

さらに、次世代の農業として期待される植物工場では、精密な環境制御を行うことで水や肥料を大幅に削減しながら高い生産性を実現。環境負荷を引き下げながら、世界中どこにでもおいしい野菜を安定供給できるサステナブルなシステムとして注目されています。

当セミナーでは、こうした気候変動や資源枯渇など社会問題の打開策となる最先端のフードテックビジネス、そしてサステナブルな食から新たな価値浸透を目指す食品小売の取り組みをご紹介します。

U.S.M. Holdings

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス

Time table

14:00	開会 Opening Movie、イベントのご案内
14:05	ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社 プログラムマネージャー 満行 光史郎 主催挨拶 会社概要 プライベートブランド「Green Growers」について
14:10	株式会社プランテックス 代表取締役社長 山田 耕資氏 登壇・質疑応答 会社概要 事業背景
14:40	BEYOND MEAT 社長兼最高経営責任者 Ethan Brown 登壇・質疑応答 会社概要、事業背景 世界と日本でのプラントベース市場の状況と展望
15:10	Ending Movie、諸連絡
15:15	フォトセッション・登壇者への囲み取材
16:30	閉会

Speaker紹介

アジア初訪問！

Main Speaker

BEYOND MEAT社 創業者
社長兼最高経営責任者

Ethan Brown

イーサン・ブラウン



メリーランド大学で公衆衛生修士号、コロンビア大学でMBAを取得。キャリアの初期はオーブングリッドを支援する電力再生に集中し、グリッド管理に関する連邦および州の政策に影響を与える。その後、世界有数のプロトン交換膜 (PEM) 燃料電池開発会社であるバラード・パワー・システムズに入社し、同社の最高経営責任者に直接報告する職位になる。また、クリーンエネルギーのみならず食に対しても持続可能性を追求。たんばく質を動物由来から植物由来に変えることで、人間の健康、気候・天然資源・動物福祉の課題を解消できると確信し、2009年BEYOND MEAT社を設立。主力製品のBEYOND BURGER®は大手食料品チェーンの精肉売り場で牛肉と並んで販売された初のプラントベースバーガーとして精肉売場に革命をもたらした。さらなるプラントベースミート市場の拡大のため、マクドナルド、ピザハット、KFCなどの飲食チェーンと提携する一方、スタンフォード大学医学部とプラントベースミートの健康および栄養学的な利点に関する研究を支援するためにアメリカがん協会と契約を締結。アメリカ心臓協会やアメリカ糖尿病協会のプログラムによって優れた栄養価が認められている。

2018年国連地球チャンピオン、2021年タイム誌「最も影響力のある企業100社」2023年ニューズウィーク誌の「最も信頼されるブランド」選出。

Speaker

株式会社プランテックス 代表取締役社長

山田 耕資氏



1981年東京都出身。2007年東京大学大学院修了。

モノづくりの生産工程改革で有名な株式会社インクスに勤務。同社の民事再生申請時には再生計画案を作成。2010年以降、日米計6社のベンチャーの創業に参加。2013年末に人工光型植物工場と出会い、世界の食と農に革新をもたらす技術だと確信し創業を決意。エンジニアリングの分野で卓越した実績・スキルを持つ4人のメンバーと共に、新しい産業を興すことを目指して2014年6月に株式会社プランテックスを創業。

Speaker

ユナイテッド・スーパーマーケット
・ホールディングス株式会社
プログラムマネージャー

満行 光史郎



1980年東京都出身。中央大学専門職大学院戦略経営研究科修了。

東京海上火災保険、デロイトトーマツ、KPMG、日清食品のインドネシア現地法人戦略・財務取締役を経て、2019年株式会社カスミ入社。ビジネス変革室ビジネスリモデル担当。2024年株式会社カスミ 専務取締役 事業戦略担当兼 マーケティング本部マネージャー 兼 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社 プログラムマネージャー。
従来のビジネスモデルにとらわれない新業態スーパーの構築を命題に、2022年茨城県つくば市に「BLANDE」をオープン。

■ BEYOND MEAT社

米国・プラントベース食品業界のリーディングカンパニー。世界60カ国以上で同社の製品が販売されており、日本では独占販売契約を締結したU.S.M.Hのグループ店舗に加え、その他小売店舗や外食レストランにて販売・使用されている。



■ 株式会社プランテックス

「省スペース・省資源で農村・都市を問わずに食と健康と安全・安心を提供できる」人工光型植物工場の企画・設立・運営サポートのほか、植物の栽培条件に関する研究や植物の生産・販売を行っている。



■ ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社

マルエツ、カスミ、マックスバリュ関東を事業会社とする共同持株会社。首都圏に約530店舗のスーパーマーケットを展開。イオングループ企業。茨城県土浦市にある自社植物工場ではGreenGrowersレタスを生産し、毎日約200店舗で販売を行っている。



■ Green Growers

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社のプライベートブランド。「安全・安心」「からだにやさしい」「地球にやさしい」食品を提案しているほか、SNSやウェブサイトでもSDGsや環境をテーマにしたライフスタイルを発信している。

